

知らなきゃ損する 歯のはなし

羽生市木村歯科医院HPにて
バックナンバー掲載中!!



木村 匡司

⑧0インプラント最新事情(3)

このコラムも今回で80回目を迎え、もう7年も書き続けていたのかと自分でも驚いています。いつも励ましていただいている読者の皆さんに感謝すると共に、今後も皆さんの聞きたい情報を紙面の許す範囲でお伝えしていきたいと思えます。今後もよろしく願いします。

このコラムは、7年前どうしても歯科医として皆さんに知っていただきたい事があることから始めました。詳しくはコラムに書けない裏事情も

読者の皆さまのおかげでこのコラムも
「80回」
を迎えました。



ないので、患者様も喜んでいただけました。

そして、何より世界的には低い価格で決められる日本の保険診療の中では一番利益になるものでした。現在、当院ではブリッジという選択枝はありませぬ。保険で認められている、国の認められた治療方法なのに、で

実は私も歯科医になった20年前は削っては詰り、歯を抜いた箇所は当たり前のように両端の歯を削ってブリッジという被せものにしまくっていました。材料によりますが保険で治療が出来、取り外しの入れ歯にもなら

歯)をお勧めしていません。

歯の両端を削らず、ブリッジよりさらに安価だからです。しかしこれも一長一短で、管理に手間がかかる、見栄えが悪い、噛みごたえが無いといった欠点があります。

同じく保険で歯の無い所の治療に認められていない取り外しの義歯(入れ歯)を失ったときにインプラントを決断したこと

で、その後定期クリーニングだけで歯を一本も失わずに10年以上経過している方も何人もいます。

逆に最初の一本(特に奥から2番目の6歳臼歯)を失い、そのまま放置したり安価なブリッジを入れたために、今は3本歯を失っている方も相当いるのが現状だと思えます。

詳しくは何でも話す健康講座にぜひ来てみて下さい。要予約。予約・問い合わせは(0120・255・418)。